資料２－１

２　コミュニティ・スクール

これまでの対応方針と主な成果や課題等

【現行指針(抄)】H18.8

○　地域に開かれ、信頼される学校づくりを一層推進するため、新しいタイプの公立学校である地域運営学校（コミュニティ・スクール）を道立高校にモデル的に導入します。地域運営学校には、保護者や地域の方々等で構成される学校運営協議会を設置します。学校運営協議会は、校長の作成する学校運営の基本方針の承認や、教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができるなど、一定の権限と責任を持って学校運営に参画します。［第５章２］

・地域と密接な連携を図ることができ、地元中学校からの進学率が高く、中長期にわたり安定した学校運営や教育活動が展開できる高校に導入します。

・公立学校としての公共性や公平性・公正性が確保されることなどに十分配慮します。

【指針の検証結果報告書(抄)】H28.10

１　主な取組の内容

○　地域に開かれ信頼される学校づくりを一層推進するため、「北海道立学校における学校運営協議会の設置等に関する教育委員会規則」を制定し、平成24年度に道立の別海高校に学校運営協議会制度を導入した。また、平成26年度には知内高校（町立）が導入したほか、平成27年度から札幌大通高校（市立）が類似の取組を実施している。

２　主な成果や課題

○　別海高校は、平成24年度から「コミュニティスクール」の指定を受け、学校運営協議会を設置し、学習部会、生活部会など５つの部会を設けて、地域と連携した学校運営を進めており、協議会の自己評価では、「学校経営方針や教育活動が理解できた」、「学校課題を把握できた」、「課題の解決に向けた取組ができた」などの項目における評価は高いものとなっている。

３　今後の方向性

○　今後は、その実践の成果の普及を図り、地域とともにある学校づくりを推進するため、これまでの地域と連携・協働した取組の状況なども考慮しながら、高校での導入を検討する必要がある。

資料2－2

学校が充実する ⇔ 地域が元気になる

コミュニティ・スクール

（学校運営協議会制度） Community School

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことを指します。

地域とともにある学校づくりのために

CS

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ

コミュニティ・スクールは、地域住民が子どもに関する課題や目標を共有し、学校運営に参画する仕組みです。学校と地域が力を合わせて子どもの成長を支援します。

【学校運営協議会の主な役割】（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第４７条の５）

○ **校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること……必須**

○ 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること…任意

○ 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができること……任意

※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長に代わり学校運営を決定・実施するものではありません。

コミュニティ・スクールには、こんな魅力があります。

子供にとっての魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

保護者にとっての魅力

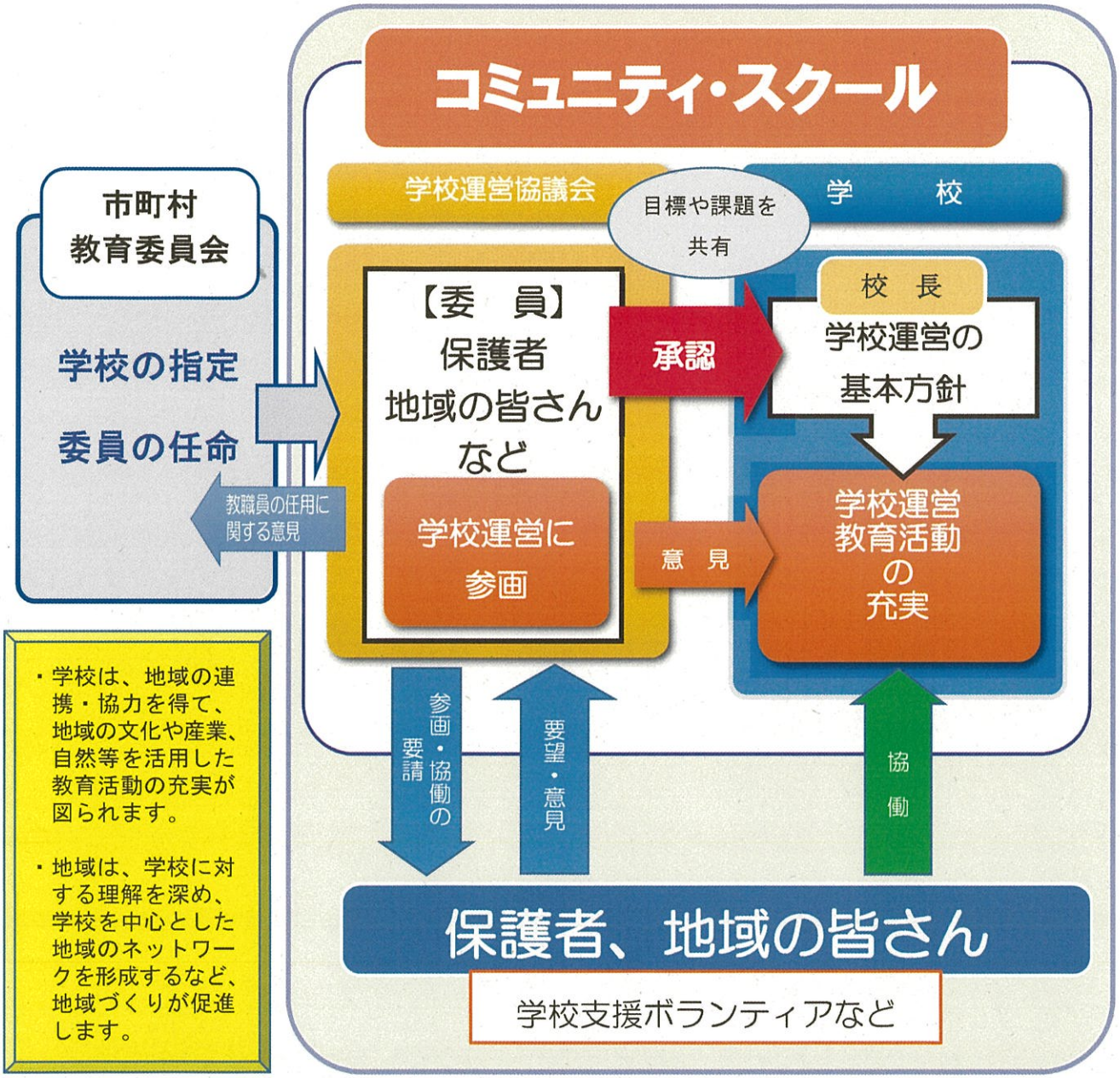
- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

資料2－2

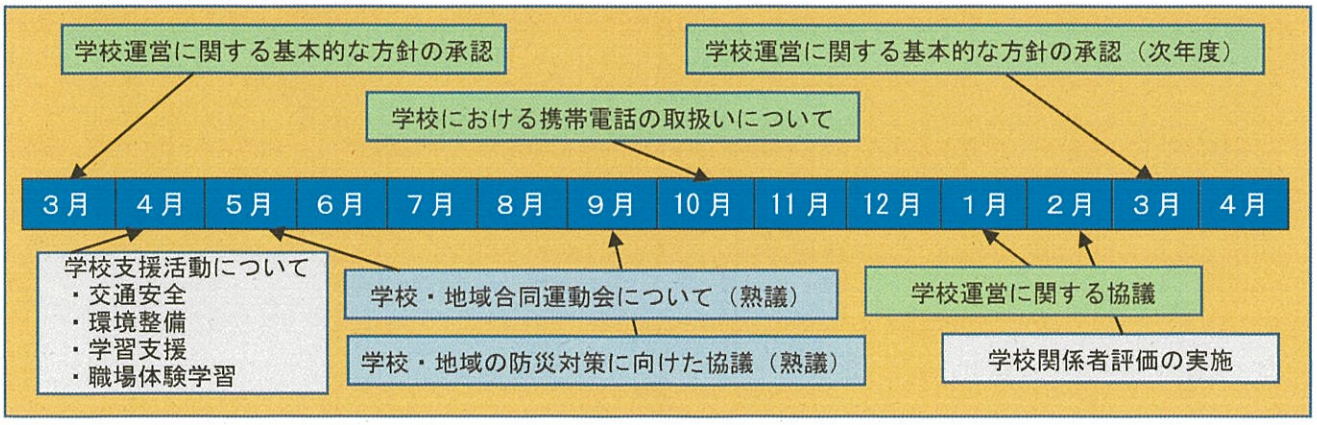
コミュニティ・スクールは、学校運営の改善・充実を図るためのツールです。



・学校は、地域の連携・協力を得て、地域の文化や産業、自然等を活用した教育活動の充実が図られます。

・地域は、学校に対する理解を深め、学校を中心とした地域のネットワークを形成するなど、地域づくりが促進します。

【学校運営協議会開催計画例】

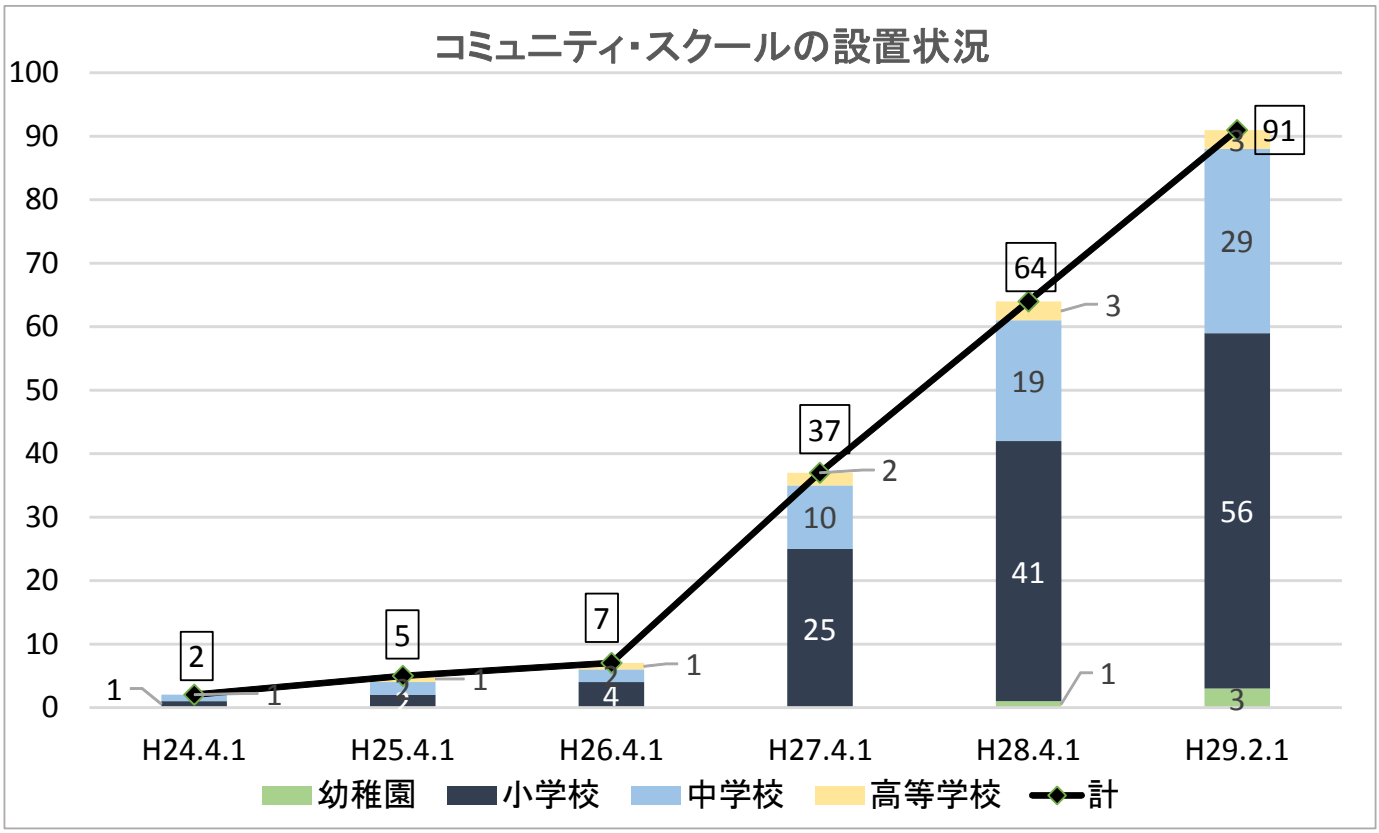


※平成２７年７月文部科学省初等中等教育局参事官付「『学校運営協議会』設置の手引き」

資料２－３

コミュニティ・スクールの設置状況（平成29年２月１日現在）

１　設置校数の推移



２　年度別（毎年4月1日）設置状況

Ｈ28.4.1までに16市町村で設置、うち８市町は域内全小中校に設置

期　間	設置市町村名及び学校数	設置校数	累　計						
			合計	幼	小	中	義	高	特
～H24.4.1 [1]	☆三笠市（小1・中1）	2校 小1中1	2		1	1			
H24.4.2 ～ H25.4.1 [2]	☆北広島市（小1・中1）　北海道（高1）	3校 小1中1高1	5		2	2		1	
H25.4.2 ～ H26.4.1 [4]	☆釧路市（小1）　☆安平町（小1）	2校 小2	7		4	2		1	
H26.4.2 ～ H27.4.1 ☆5 [9]	☆浦幌町（小3・中2）　☆寿都町（小2・中1） ☆知内町（小1・高1）☆占冠村（小1）釧路市（小3） 安平町（小3）☆登別市（小8・中5）	30校 小21中8 高1	37		25	10		2	
H27.4.2 ～ H28.4.1 ☆7 [16]	☆壮瞥町（小2・中2）☆栗山町（小3・中1）☆函館市（中1） ☆東神楽町（小4）　☆天塩町（小1）☆上士幌町（小3・中1） 知内町（幼1・小2・中1）　安平町（中2）　釧路市（小2・中1） ☆札幌市（高1）	27校　※1 幼1 小16 中9 高1	64	1	41	19		3	
H28.4.2 ～ H29.2.1 ☆5 [21]	占冠村（小1・中2）　安平町（幼1）☆南富良野町（小1） ☆七飯町（小7・中3）☆鹿部町（幼1・小1・中1）東神楽町（中1） ☆枝幸町（小1）　☆東川町（小1・中1）　☆伊達市（小３中２）	20校 幼2 小15 中10	91	3	56	29		3	

☆は新規設置市町村

[数字] は設置市町村数のトータル

[市町村名] は域内全校に設置している市町村

※1　Ｈ27に設置された浦幌町立厚内小は、Ｈ27末をもって浦幌小に統合（▲1校）

資料２－４

コミュニティ・スクールの道内の取組

別海高校の例

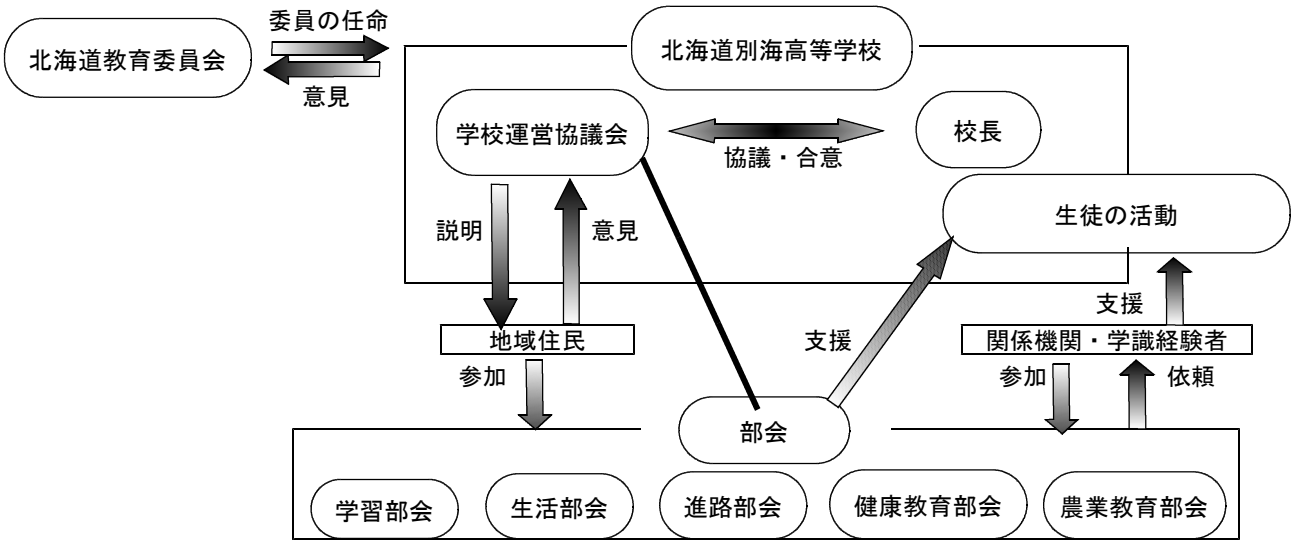
○基本方針

1　それぞれの学科の特色を生かした教育活動の推進に努める
2　地域と一体となった教育活動の推進に努める
3　併設する普通科、酪農経営科、農業特別専攻科が連携した教育活動の推進に努める
4　生徒が学ぶ喜びと充実感の持てる教育活動の推進に努める

○学校運営協議会の組織体制

学校運営協議会は、「学習部会」、「生活部会」、「進路部会」、「健康教育部会」、「農業教育部会」の５部会で構成する。

◆組織図



○学校運営協議会の各部会の活動内容

部　　会	活　動　内　容
学 習 部 会	・地域外部講師による進路講話の開催（年３回） ・教育課程、道徳教育及び特別活動の全体計画の確認
生 活 部 会	・携帯電話使用教室の開催 ・交通安全教室の開催
進 路 部 会	・大学訪問及び大学教授による講義等の開催　・中小企業家同友会別海支部への新規求人拡大要請　・インターンシップ受入事業所訪問による生徒の活動状況の視察
健康教育部会	・保健師や中高の養護教諭の連携による懇談会の開催 ・ミニ人間ドックの開催
農業教育部会	・別海町酪農研修牧場での実習体験協力 ・ＪＡ道東あさひホルスタインショーへの参加協力